

1-3(ansible環境構築)

Mercurialのインストール

```
brew install mercurial
```

でMercurialのインストール.

その後インストールしたFedoraの仮想環境でOS13.mdを見ながら仮想環境の環境構築をおこなう.

ローカル上で鍵を生成して,

<http://qiita.com/HamaTech/items/21bb9761f326c4d4aa65>

(上記参照)

```
ssh-keygen -t rsa
```

作成した公開鍵は

```
rsync -auvz 作成した鍵.pub -e "ssh -p 2222" ユーザ名@localhost:
```

でサーバ上に転送する

以下はリンク通りに進めるが, fedora内のにある".ssh/"フォルダに対して,

```
chmod 700 .ssh/
```

で権限を変更する必要があるので注意. これで公開鍵と秘密鍵の設定を終えたので, configの編集. ただしIdentityFileに"~/ssh/サーバAの鍵"を設置しておかないとエラーが出るかも? mvで移動しておこう.

```
ssh 作成した鍵
```

これでパスワードを求められずにログインできていれば正しくsshできています.

その後ansibleをインストール(brew install ansibleでだいたい行けるっしょ)

```
hg clone https://ie.u-ryukyu.ac.jp/hg/y12/index.cgi/home/hg/y12/e125721/ansible/
```

でホームディレクトリにクローン. 必要なら好きなフォルダに指定するといいさ.

ターミナル上で

```
grep yum *.yaml
```

を行うことで.yaml内にある"yum"を表示させるので、これに当てはまるファイルの"yum"をすべて'dnf'に変更する.

ansible/tasks 内のinstall-php.yamlとsetting-mariadb.yamlのファイルにsudo権限を追加する. `sudo: yes`

- コロンとの間にスペースを開けないとエラーを吐くので注意！)
- ただし、1番上のnameの下に記述すること)

さらにsetting-mariadb.yamlのファイル内の `encoding: "utf8"` (変更前 "UTF-8") を変更する.

ターミナル上で

```
grep yum **/*.yaml
```

を行うことで.yaml内にある"yum"を表示させるので、これに当てはまるファイルの"yum"をすべて'dnf'に変更する.

以上の作業が終わったら、作成したユーザーにsudo権限を付与する必要があるので、

<https://genchan.net/server/5421>

をみながら権限を追加すること(rootではできないので注意！)

以上の変更を必ず行ってから、ansibleフォルダにて

```
ansible-playbook -i hosts main.yaml -K
```

を実行する.

うまく行ったら、サーバー上で

```
sudo systemctl restart httpd.service  
curl -L http://localhost
```

これで日本語見えたらお疲れ様でした。(課題はここまでだけどこの先必要.)

cloneしてきたフォルダのhgrc あとでgoodnoteみて